

2023年度卒塾生その2

2024年度中3クラス生も無事入試を終えることが出来ました。塾生が全力を尽くした結果を静かに待ちたいと思います。結果はまたお知らせいたします。

さて、2023年度卒塾生、先月は5人ご紹介しましたが、今月は残りの6人について書かせていただきます。実は大変珍しい進学結果が出た年でした。HちゃんとRちゃんともう一人のRちゃん、この3人の女の子が同じ高校の同じ学科に進学となったのです。これだけ聞けばちっとも珍しいことではないのですが、その進学先というのが、県内に1クラスしかない瑞陵高校の「食物科」でしたので驚きでした。3人は出身中学も違えば入塾した時期も違い、入塾当初は全く接点が無かったと言っても過言ではありません。一人目のRちゃんは小6から入塾した高蔵寺中学校生、Hちゃんは中2から入塾した石尾台中学校生、そしてもう一人のRちゃんは中3から入塾した坂下中学校生でした。そして実際、私に志望校を伝えた時点では3人はお互いの志望校を知らなかったのです。私ももちろん3人に告げることはしませんので、私は一人で驚いていました。二人のRちゃんは推薦で合格しましたので、その時の受験会場で出会って驚き合ったようでした。Hちゃんは一般受験での合格です。県内でわずか40人しかいない瑞陵の食物科に通う学生のうち、3人がこの小さな塾出身だとは本当に珍しいことです。もちろん、私からは一言も勧めていません。3人はそれぞれ目標があって通っていますし、今もみんなとても元気に過ごしているようですので安心しています。

苦手な英語を克服しようと中2から入塾し、最後まで諦めずに頑張りきって春日丘の推薦を掴み取ったのがI君。ただ、英語には本当に苦勞しました。文の形をなかなか理解することができなかったのです。やっとコツをつかんで伸びてきたのが中3の終わり頃。そのころにはむしろ英語が得意教科となりました。基礎はきっちり身につきましたので、高校生となった今でも努力さえ怠らなければ大丈夫だと私は確信しています。

最後の二人は中3から入塾した女の子達です。内申はあったものの実力をアップさせたかった高森第中学校生のAちゃんと、なんと第一期卒塾生の子どもさんである高蔵寺中学校生のもう一人のAちゃん。二人ともきちんと真面目に努力して、それぞれの志望校である名東高校と旭野高校に進学しました。第一希望が名東高校なのは開塾以来初めてでしたが、本人の希望だったので応援しました。アドバイスはしますが、自分の道は自分で決めるのを後押しします。

いよいよ新年度です。先輩方に負けないよう、目標に向かって現塾生も頑張りましょう！